

平成 28年 8月 24日

愛知県教育委員会教育長
~~愛知県教育委員会~~委員長 殿
設楽町教育委員会 委員長 殿



部活動全員参加見直しについての請願

中澤 結香

1 請願の趣旨

設楽町立設楽中学校では部活動は全員参加となっております。3年時夏、それぞれの部活動の大会が終わると、もれなく活動は陸上部へと変わります。お盆休みが終わると陸上部練習のため登校、2学期も課外部活動は続きます。10月の北設楽郡中学校駅伝大会に備えるためです。クローズアップ現代でも8月初旬にブラック部活動の放送があったばかりです。山間部の少子化の問題もあり、全員参加でないと部が存続できないというは理解しており通常の部活動には参加しておりました。しかしながら、受験を控えた3年生の娘に夏以降の部活動（陸上部）は必要なく、自動的に全員参加となるのは問題だと思えます。

部活動の教育的意義について大いに認めておりますが、時代は変わり、社会も成熟し、苦勞と根性で成長するという風潮は今や古いものとなっております。学習指導要領には「部活動は生徒の自主的、自発的な参加により行われる」とあります。部活動は毎日1時間程度あり週末の練習や大会なども入れるとたいへんな時間となります。教育課程のどの教科より多いのではないのでしょうか。顧問教員にも多大な負担となります。日本の教員の1週間当たりの勤務時間は参加国最長という残念な結果が国際教員指導環境調査（TALIS）により出されているのはご存知のことと思えます。一般の会社であれば訴訟問題に発展するような時間外労働であり違法な“サービス”残業です。全国でも教員による部活顧問選択制の署名運動が起こっております。保護者として先生には万全の準備をして授業には臨んでいただきたいと思えます。さらに申し上げれば、先生の不休のストレスのはけ口が子どもたちに向かうことを危惧しております。

「好きだから」「楽しいから」続けるのが部活であり、子どもや教員を
疲弊させる部活動の強制加入、全員参加の見直しをして頂きたいです。

2 請願項目

- ① 部活動強制加入、全員参加の廃止
- ② 学校から地域コミュニティへ少子化対策として社会体育としての活動に移行
- ③ 教員の部活動顧問の選択制導入による教員負担軽減
- ④ 群、あるいは県としての共通の部活動練習時間規定
- ⑤ 設楽町教育委員、委員長の名とバックグラウンドの公開(設楽町のみ、町例規
情報公開条例第1条)

日本国憲法第16条、および請願法に基づき、以上の項目を請願いたします。